富田林市観光ビジョン 実施計画

計画の趣旨

本実施計画は、「富田林市観光ビジョン」に掲げている観光振興の方針や取り組み内容を実現をめざし、情勢の変化に対応し、持続可能な観光振興に向けて計画的に事業を展開するため、計画期間中に実施すべき主要な事業について記載し、内容・実施期間・進捗等を管理するとともに、各年度の予算編成の指針として策定します。

効果検証について

各年度で実施している事業について、成果指標などを参考に今後の事業展開について検討し、ターゲットや戦略の見直しを行います。また、各年度の計画に対し評価を行うことで、次年度の事業実施に反映します。

次期観光ビジョン策定について

次期観光ビジョン策定の必要性について、令和7年度以後に外部有識者へのヒアリング等を通じて、観光ビジョンの在り方及び必要性の検討を行います。

今後の進め方について

令和7年度以後
次期観光ビジョン策定の必要性について、検討します。

富田林市観光ビジョン 体系図

重点的に取り組むこと・戦略

1

歴史・文化を
活かした観光振興

2

農や自然を活かした
観光振興

3

外国人観光客の
誘致

戦略 **1**
魅力ある観光地域づくり

1. 観光資源の磨き上げ
2. 周遊の促進
3. 観光商品の提案
4. 「食」を活用した魅力の向上

戦略 **2**
観光情報発信の強化

1. 戦略的な情報発信のための整理
2. ターゲットに合わせた情報発信の充実

戦略 **3**
受入体制の整備促進

1. 観光への意識の向上
2. 受入体制の充実

戦略 **4**
広域観光・国際観光の推進

1. 広域での観光連携
2. 外国人観光客の増加に向けた受入体制の整備と誘客

戦略 **5**
多様な主体との連携

1. 観光による人や地域とのつながり
2. 地域への愛着醸成による将来の担い手づくり

戦略1 魅力ある観光地域づくり

(1) 観光資源の磨き上げ

■基本的な方向性

既存の観光資源を見つめ直し、さらなる魅力向上・活用を検討します。

取り組みの目的

- ・ 富田林市ならではの楽しめる空間の創出
- ・ 新たな切り口での魅力の創出

■めざす姿

- 既存の観光資源の磨き上げや体験型観光コンテンツの充実により、観光客が様々な楽しみ方を選択できるようになっています。
- 歴史的資源などを「活用」し、魅力と価値の最大化を図ることで、ワンランク上の観光を楽しんでいます。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 既存イベント等の磨き上げ	<p>既に実施している「じないまち四季物語」や「金剛きらめきイルミネーション」などのイベントや観光コンテンツの魅力を最大限に活かせる戦略を検討し、魅力の向上に取り組みます。</p> <p>寺内町地域ではオーバーツーリズムも考慮し、人流分析等を活用した観光のあり方を検討します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 既存のイベントごとにあり方の検討・ 来訪者数の正確な集計方法の検討
② ウェルネストレイルの実施	<p>歴史・文化・自然・地域の人々にふれ、富田林らしさを感じ心も体も元気になるウォーキングなどのイベントを実施します。</p> <p>SDGs未来都市モデル事業において設定したルートについて、令和7年度に観光デジタルコンテンツのマップ上にルートを表示します。令和8年度までのルート閲覧者数などから利用者数を推計・効果検証を行い、事業のあり方を検討します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ウェルネストレイルのあり方・ 利用者数の推計方法
③ まちごとミュージアム	<p>本市にある魅力あふれる資源を活用し、ワンランク上のブランド化や活用方法について検討し、観光客に選ばれる観光地域づくりにむけて取り組みます。</p> <p>具体的には、ミュージアムなどを活用した、アートを巡るコースを設定します。歴史・文化・芸術などの観光資源に関する魅力発信方法について検討・実施します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「富田林ミュージアム構想」との連携についての検討・調整。

戦略1 魅力ある観光地域づくり

(2) 周遊促進

■基本的な方向性

既存のコンテンツを活かした周遊促進をめざします。

取り組みの目的

- ・ 富田林市の楽しみ方の提示
- ・ 滞在時間の延長

■めざす姿

- 観光客の増加により交流人口も増加し、稼ぐ力も向上し、地域が潤っています。
- 観光需要が高まり、地域経済の活性化や雇用創出といった波及効果がみられます。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 『農×観光』で誘客促進	<p>食や農業体験を組み合わせた「グリーン・ツーリズム」「アグリ・ツーリズム」などの新たな体験プログラムを検討し、農と観光を組み合わせた楽しみ方を提案します。また、四季を感じることで多くの自然資源を活用することで、年間を通じて観光客が訪れる仕組みづくりも進めます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 農業創造課と連携した施策の検討・ 既存の食や農業に関するコンテンツの把握
② 観光マップ作成事業	<p>富田林らしい楽しみ方を提示することで、市内における滞在時間の延長に取り組みます。</p> <p>令和4年度には、周遊促進にむけたルート掲載や観光資源をつなぐストーリーづくりを意識した観光マップ「富田林観光ガイド」を紙媒体及びデータで作成しました。令和7年度以降も、観光マップを広く配架することや、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいずれでも親しんでもらえるようウェブサイトでの掲載等を行います。</p> <p>【課題等】</p> <p>富田林観光ガイド配布・配架による観光誘客の効果検証</p>
③ ものづくり企業と連携した産業観光コンテンツの創出	<p>本市にある大阪金剛簾などの伝統的なものづくりや、中小企業団地の先端技術を有する企業など、本市の産業と連携した観光推進に取り組みます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 商工会、富田林工業団地四組合協議会などの団体や企業と連携した観光の視点を取り入れた施策の実施に向けた調整及び検討。

戦略1 魅力ある観光地域づくり

(3) 観光商品の提案

■基本的な方向性

富田林市らしい観光商品づくりを行い、訪れて楽しいと感じる魅力づくりを行います。

取り組みの目的

- ・新しい魅力の創出と事業者への可能性の提示
- ・富田林ブランドの確立

■めざす姿

- 歴史や文化と調和した生活空間を観光客が楽しんでいきます。
- 商品を通じた地域の認知度とイメージの向上がなされており、その商品はおみやげとしてだけでなく、本市を訪れるきっかけにもなっています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 体験型観光コンテンツの発掘・開発	<p>令和6年度に造成した体験型観光コンテンツの周知や宣伝、販売促進プロモーションなどを行い、利用者の獲得をめざします。</p> <p>また、引き続き時代の流れやニーズに合わせ、地域ならではの魅力を活かした体験型観光コンテンツの開発に取り組みます。</p> <p>具体的には、商店会等とも連携した体験型コンテンツ開拓を促進するほか、観光の閑散期にあわせた期間イベントを実施します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・体験型観光コンテンツの周知や宣伝、ターゲットの設定・体験型観光コンテンツの開発機運醸成・既存の体験型コンテンツの把握
② 「生活空間型観光」の調査・研究	<p>富田林寺内町における保存と活用の双方の観点から観光地域づくりを行う「生活空間型観光」の実現に向けて取り組みます。</p> <p>令和3年度～5年度にかけて阪南大学と連携し、観光客の行動調査や地域住民とのつながり、文化財の活用について検討を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で活動が制限されました。そのため令和6年度から令和8年度にかけても引き続き調査研究を行い、「生活空間型観光」の実現に向け必要な施策を実施します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・阪南大学との調査研究内容に基づいた、効果的な施策の実施内容及び時期の検討。
③ 富田林ブランドの確立	<p>既存商品の魅力や新たな特産品を発掘し、積極的なPRや戦略的な販売を行い、富田林ブランドの地位確立に取り組みます。</p> <p>令和7年度以降も継続して富田林ブランド認定審査会を開催し、新たな認定商品の魅力発信に取り組みます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・さらなるブランドの地位確立

戦略1 魅力ある観光地域づくり

(4) 「食」を活用した魅力の向上

■基本的な方向性

富田林市らしい「食」を活用した魅力の向上をめざします。

取り組みの目的

- ・「食」の魅力をつくる
- ・「食」に関する体験メニューの構築

■めざす姿

- なす、きゅうりなどの地元食材の活用により魅力が向上し、「地産地消」が進んでいます。
- 「食×自然×観光」といった様々な組み合わせが可能となり、「食でつなぐ観光」を提供しています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 観光しながら楽しめる「食」の充実	<p>本市ならではの地域性、独自性、希少性、季節性を活かした『フードトレイル』の実施により、「食」の魅力の向上をめざします。「食」の魅力や今後資源となり得るものの洗い出しに取り組みます。令和7年度以降は、観光Instagram等を活用し、魅力の発信を行います。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・魅力発信について成果指標もふまえた上で目標設定することが必要
② 食でつなぐ観光	<p>観光客の「食」に関する知的好奇心を刺激できるような、本市ならではの「食」の生産や加工の現場見学、体験などのコンテンツを検討します。実際に触れることによって、楽しむだけでなく、季節性を活かした体験も含めて検討することにより、年間を通じて観光客が訪れ、楽しむことができる仕組みづくりをめざします。令和5年度に「富田林の海老芋」が大阪初のG I（地理的表示）の登録を受け、海老芋を活用した食のコンテンツの充実を目指します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・食に関する観光コンテンツの不足・観光客向けに食を提供する事業者の開拓・大阪初のG I登録「富田林の海老芋」の活用方法

戦略2 観光情報発信の強化

(1) 戦略的な情報発信のための整理

■基本的な方向性

誰にどのような情報を届けるか、情報の内容を整理します。

取り組みの目的

- ・ 情報発信内容の見直しと改善
- ・ 観光しやすくなる仕組みづくり
- ・ 情報の活用方法の検討

■めざす姿

- ターゲットを意識した観光事業の展開により、イベント来場者数や観光消費意欲が向上しています。
- ターゲットの観光客に観光情報を積極的に届け、受け身ではない観光振興に取り組んでいます。
- 大阪・関西万博の会期中や、万博閉幕後に本市へ訪れる観光客が増加しています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 事業に応じたターゲットの設定	<p>本市の歴史・文化・自然に関する豊富な資源の多面的な魅力を整理し、それぞれの魅力が最大限に活かすことができるようなターゲット設定に取り組みます。それにより、特色を活かしコンセプトを明確化した上で事業を展開し、プロモーションを行います。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ターゲティングによる観光プロモーションの効果測定
② SNSなどを活用した戦略的な広報活動の推進	<p>四季やテーマ等に応じて観光Instagramや市HPで情報発信することで、市観光情報発信を充実させます。引き続き、市の保有写真と観光資源の情報を適宜更新し、四季・テーマを意識した情報発信を進めます。</p> <p>また、本市への観光誘客を促進するため、令和6年度に造成した観光ツアーや、観光デジタルコンテンツ「とんだばやしとりっぷ」の利用を促進するため、SNSでの発信や、Instagramのターゲット広告などの効果的な宣伝広告ツールの活用、本市内での着地型イベント等の企画・実施を検討します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年代別（特に20代、30代）のリーチ分析を活かした情報発信
③ 大阪・関西万博2025に関する戦略的なPR活動	<p>万博期間中、およびアフター万博を見据え、本市への観光誘客を促進するためのPR活動を行います。万博を契機に来阪する国内外の観光客に対して、ターゲットに応じた効果的な宣伝ツールを活用し、戦略的なPR手段を検討・実施していきます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ アフター万博を見据えたPR活動計画の検討

戦略2 観光情報発信の強化

(2) ターゲットに合わせた情報発信の充実

■基本的な方向性

様々な媒体を活用し、ターゲットに合わせた情報発信手法を検討・実践します。

取り組みの目的

- ・ターゲットを意識することによるそれぞれに適した情報の発信

■めざす姿

- 観光に関わる人が情報発信をすることで、観光情報を身近に感じてもらえるようになっています。
- 旅行者に適したプランを提案することで、戦略的に人の流れを生み出し、観光客の誘客を促進しています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 情報発信内容の整理整頓と取り組みの見直し	<p>既存の情報発信ツールを見直し、観光客の声を取り入れるなど、客観的視点から魅力の分析を行い、より戦略的に情報を発信できるよう取り組みます。令和4年度までに情報発信にかかる媒体ごとに適したターゲットを検討し、その結果、30代以下の若者を狙って観光Instagramを開設しました。今後も事業に応じてターゲットを設定します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・観光Instagramのリーチ分析等によるターゲットの再設定
② みんなにぴったりの過ごし方	<p>本市の観光に関する情報をターゲットに合わせて整理し、パッケージ化することによって、ニーズに合わせた情報発信をめざします。また、イベントや事業ごとにターゲットを設定していきます。令和6年度に開発した観光デジタルコンテンツ「とんだばやしとりっぷ」でモデルコースを設定し、コース周遊促進に向けた情報発信を行います。同じく令和6年度に造成した観光ツアーや観光コンテンツについても、販売促進に向けた情報発信を行います。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・観光関係事業者へのアプローチや、商品販売に向けたマッチング推進・観光（旅行）業界へのプロモーション方法の検討

戦略3 受入体制の整備促進

(1) 観光への意識の向上

■基本的な方向性

観光に関わる人材の育成・強化に努めます。

取り組みの目的

- ・観光によるまちの活性化
- ・地域での観光を担う人材の発掘

■めざす姿

- 市民一人ひとりが地域との連携を通し、まち全体で観光客を迎え入れる思いを共有しています。
- 観光リーダーの活躍がまちの魅力向上につながり、観光客の満足度が向上する環境が整っています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 観光の輪を広げる	<p>本市生涯学習課の「とんだばやし発見出前講座」などを活用し、富田林の観光について知ってもらえるよう取り組みます。</p> <p>とんだばやし発見出前講座のメニューとして「富田林市の観光」に関する講座を登録します。</p> <p>また、阪南大学との連携などを通して、地域事業者への観光事業・施策の周知や、子どもたちが富田林の魅力を知り、楽しむ機会として、観光イベントへ来訪しやすくなるような仕組みの構築を目指します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・観光に関わる人を増やすための取り組みの検討。
② 観光リーダーの育成	<p>観光は自然や文化、人と交流することであり、これは持続可能な地域活性化を進める上で重要な役割を担うため、市民一人ひとりが観光客を温かく迎えることのできる意識の醸成をめざします。また、観光振興に関する登場人物の増加による全員参加型観光の推進に取り組みます。</p> <p>令和7年度に、観光人材の育成に関する調査研究を行います。また令和8年度は観光に関わる人に向けた「観光人材育成セミナー」を開催し、観光への意識の向上および観光人材育成に取り組みます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・観光人材育成のノウハウやニーズの調査・観光に携わる団体や事業者との連携

戦略3 受入体制の整備促進

(2) 受入体制の充実

■基本的な方向性

観光客の利便性向上のため、二次交通の整備・充実や、受入環境の整備を検討します。

取り組みの目的

- ・観光客の利便性向上
- ・ユニバーサルツーリズムの推進

■めざす姿

- 誘導サインなどの環境整備が整い、観光客が周遊プランを利用し観光を楽しんでいます。
- 思いやりのある観光地域づくりの推進により、市民と観光客が本市のファンとなっています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 観光をしやすいするためのインフラ整備	<p>観光しやすい環境整備に向け、観光客の利便性向上に向けて取り組みます。ソフト面については、観光デジタルコンテンツ「とんだばやしとりっぷ」整備事業および、その情報発信に取り組み、周遊しやすい仕組みづくりに取り組みます。</p> <p>ハード面については、市内12箇所ある観光案内板について、引き続き効果的かつ時代に合わせた案内板のあり方を検討します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・観光デジタルコンテンツのスポット追加・既存の案内板等の把握や更新計画の作成
② ユニバーサルツーリズムの推進	<p>コミュニケーションを大切にし、観光客一人ひとりが快適に市内観光をすることができるなど、誰もが楽しめる観光地域づくりに取り組みます。富田林市観光ビジョンの施策を実施するすべての事業において、ユニバーサルツーリズムの意識をもって施策を実施します。また、ユニバーサルツーリズムについて、観光関連事業者の方にも意識してもらえよう、啓発や周知活動を行います。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ユニバーサルツーリズムに関する情報発信方法・観光客がどうすれば制限なく利用できるか。
③ 災害への備え	<p>災害などが発生しても観光客が安全に帰宅できるよう、避難誘導や情報の収集・周知などの体制づくりを行い、“いざ”という時に備えます。観光デジタルコンテンツ上での避難所スポットの設置を行い、災害時のインフラとして活用できるよう整備します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・さらなる災害への備えを検討

戦略4 広域観光・国際観光の推進

(1) 広域での観光連携

■基本的な方向性

エリアにとらわれず、目的、テーマ、ストーリーに沿った広域観光に取り組みます。

取り組みの目的

- ・広域で取り組むことによる魅力の向上

■めざす姿

- エリアにとらわれない広域ならではの観光の実現により、多くの人の交流の場となっています。
- 南河内には世界遺産、日本遺産、さらに大阪府内唯一の重要伝統的建造物群保存地区があり、それらの活用により観光客でにぎわっています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 南河内での広域連携	<p>広域で取り組むことによって単独での実施に比べ、ストーリー性のあるイベントなどの企画・運営を行い、南河内でのより一層の連携と魅力の向上をめざします。</p> <p>作成したプロモーション動画を活用し、広域観光の宣伝を行います。</p> <p>また、華やいで大阪・南河内キャンペーン協議会だけでなく、随時南河内での連携についても検討します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・歴史・文化・食など効果的な連携テーマの検討・南河内のブランディング強化
② テーマやストーリーに沿った広域的な連携	<p>エリアにとらわれず、歴史や食、ものづくり、芸術など、テーマやストーリーに沿った観光資源やイベントなどと連携に取り組むことにより、情報発信の強化や他の地域とのつながりによる地域活性化をめざします。</p> <p>ウェブサイトでのテーマやストーリーに応じた相互のイベント等についての掲載をめざします。また、新たな広域連携についても、検討を行います。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・万博後の連携にイベント検討・大阪府やその他自治体との連携による取り組みの実施・ガストロノミーツーリズムなど、地域の特性を活かした事業展開

戦略4 広域観光・国際観光の推進

(2)外国人観光客の増加に向けた受入体制の整備と誘客

■基本的な方向性

広域的に、外国人観光客の増加に向けた受入体制の整備と誘客を検討します。

取り組みの目的

- ・外国人観光客にとっての快適な観光地域づくり

■めざす姿

- 歴史・文化・自然・農業などの本市らしい体験を楽しむ外国人観光客が増加しています。
- 観光を楽しめるだけでなく、住みよい環境となり、本市での生活も楽しめるまちになっています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① 外国人観光客に選ばれる観光地域づくり	<p>季節に応じた農業体験、日本の生活や歴史・文化が息づく空間である富田林寺内町での文化的体験などを通して、本市ならではの体験による外国人観光客の誘客をめざします。</p> <p>また、令和6年度に観光ツアープラン造成事業で造成したツアーやコンテンツの誘客に努めます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・サバーファーム再開後の外国人受け入れ・外国人に向けた体験型観光コンテンツの提案・インバウンド受け入れ体制の充実（ツールの充実）
② 安全・安心に楽しめる環境づくり	<p>外国人観光客が快適に過ごすための整備として、多言語やキャッシュレスへの対応を推進します。また、災害時などの対応や住みよいまちづくりを行うことで、訪れて楽しいだけでなく、住みたくなるまち・住み続けたいまちをめざします。</p> <p>観光デジタルコンテンツ上での多言語版デジタルマップ、多言語でのスポット紹介、外国人対応店舗の把握などにより、外国人にも便利に観光を楽しんでもらう環境を作ります。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none">・多言語化やキャッシュレス化の取り組みの検討

戦略5 多様な主体との連携

(1) 観光による人や地域とのつながり

■基本的な方向性

観光に関わる担い手のネットワークの構築に向けて検討を進めます。

取り組みの目的

- ・ みんなでつくり上げる富田林の観光地域づくり

■めざす姿

- 観光振興を目的とした公民連携のネットワークにより、それぞれの主体の良さが活きる連携体制が構築されています。
- イベントでのふれあいにより、観光客と地域とのつながりが創出され、地域コミュニティが活性化しています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① ネットワークの構築	<p>本市には東西に私鉄の路線があり、ともに大阪市内から約30分とアクセスが良いという強みがあります。それらの交通機関と連携することで各観光資源をつなぐネットワークづくりに取り組みます。</p> <p>令和5年度には、交通機関と連携したイベントを実施しました。今後も連携イベントの実施検討や既存イベントへの参加を行います。</p> <p>引き続き、後援やPR等での連携協力を行い、相互に情報発信を行います。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関との連携のあり方 ・ 観光に携わる団体や事業者にとって有益な情報共有・情報交換の場の創出の実現に向けた検討
② エンターテインメントでつなげるコミュニティづくり	<p>本市で開催されている既存イベントでの参加者や事業者間でのふれあいは、交流人口と地域と多様に関わる関係人口の増加や、にぎわいづくりにおいて重要な役割を担っています。そのため、参加者や事業者間などでのイベントを介したふれあいからネットワークづくりにつなげるための取り組みを推進します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の各イベント情報の集約 ・ イベントの参加者がつながる仕組み、担い手の検討 ・ 寺内町を中心とした観光に関する事業者コミュニティの確立
③ 公民連携による地域とのつながり	<p>公民連携は、観光振興においても多くの可能性を引き出すことのできるツールといえます。お互いの強みを活かした観光事業の展開を進めることができるため、連携により新たなつながりとこれまでにない魅力の創出をめざします。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携に関する提案があった場合、商工観光課からどのような提案を行うかの検討が必要

戦略5 多様な主体との連携

(2) 地域への愛着醸成による将来の担い手づくり

■基本的な方向性

市民の郷土教育や愛着醸成を図り、将来の担い手づくりにつなげます。

取り組みの目的

- ・ 地域における富田林ファンの増加
- ・ 地域への学びの支援

■めざす姿

- 本市の良さや魅力を実感し、これまで以上に愛着を持てる地域力の高い富田林を実現しています。
- 子どもたちが学校などで地域について楽しく学んでいます。また、その学びを周囲の人に伝えることで、市全体でのシビックプライドが醸成され、観光振興につながっています。

■具体的な取り組み

事業名	事業内容
① ふるさと富田林	<p>子どもたちが、本市の豊かな歴史・文化が作り上げてきた魅力あふれる資源について、学校教育などで学ぶ機会を引き続き設け、本市への愛着醸成をめざします。</p> <p>とんだばやし発見出前講座のメニューとして「富田林市の観光」に関するものを登録することで、学ぶ機会の増加をめざします。</p> <p>また、市民の方々へも観光デジタルコンテンツ「とんだばやしとりっぷ」をダウンロードしてもらえよう周知宣伝し、より本市を知ってもらう機会をつくれます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組み内容が受動的なものであるため、能動的な取り組みについても検討が必要。（市教育委員会との協力体制の構築など）
② 商売するなら富田林	<p>今後の地域活性化に向けて、新規の創業希望者に対する支援を実施し、将来の担い手づくりにつなげます。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者が観光振興が事業のメリットとなることを発信していき、担い手となる流れの創出
③ 地域の稼ぐ力の推進体制の検討	<p>持続可能な観光振興を実現するために、観光地域づくりによる稼ぐ力の向上に取り組めます。</p> <p>観光地域づくりを推進しやすい体制づくりを検討し、観光コンテンツの周知宣伝なども含めた観光客の誘客や経済が潤うような仕組みづくりをめざします。</p> <p>将来的には観光関係団体やコンテンツ運営事業者が、それらの収益により自走化できるよう支援します。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光コンテンツ運営事業者の自走化に向けた支援方法の検討 ・ 観光ツアーやコンテンツの継続的な販売